



松江市立竹矢小学校 学校だより

わかたけ



令和7年9月25日

No.5

校長 杉原 孝尚



竹矢小学校 HP

竹矢小学校のHP（ホームページ）のQRコードです。↑
今年度も（これから）更新していきます。↑

2学期が始まりました。今年は長くて暑い夏休みでした。9月も暑い日が続いていますが、子ども達は生活リズムを取り戻し、毎日元気に学校生活を送っています。

しじみ漁体験

9月17日に3年生がしじみ漁体験に出かけました。松江のめいさんの「しじみ」。みんな食べたことはありますが、どのように漁をしているのか初めて知った人も多かったようです。また、漁をする人の想いや工夫を知る機会になりました。昼前に激しい雨が降りましたが、早めに漁を終えて中央小学校に移動して昼食を食べていたので、難を逃れました。中央小学校では、体育館を使わせていただきリラックスすることも出来ました。ありがとうございました。



(児童の感想)

○ジョレンでしじみをとるときに、思ったよりもしじみがとれてうれしかったです。ジョレンは思ったよりも長くてびっくりしました。とるところは、はりみたいで、ささりそうなくらいとんがっていました。

○しじみいがいに生き物がいることが知れてよかったです。しんじこがきれいになるにはしじみがいるから、かんがえてとらないといけないと思いました。

○しじみをとるとき、あげるときにまわしながらとるっていうアドバイスをくれて、そうやったら、しじみがいっぱいとれました。

○すなぬきをきのうの夜にしました。今日しじみじるなので、うれしいです。はやく帰ってのみたいです。これから1週間ぐらいしじみもつとおもうので、しじみ食べほうだいです。ありがとうございました。

被爆体験者の方のお話

9月17日に市内の被爆体験者の方に来ていただきました。来月、修学旅行で広島の平和公園に行く6年生が、被爆体験談を聞かせていただきました。

被爆当時は小学6年生だったそうです。自分たちと同じ年頃の人が、戦時中にどのような生活をしていたのか。原子爆弾が落とされた時の状況や人々の苦痛がどのようなものであったか。体験した人の口から直接聞くことは、貴重な経験となりました。

6年生はいつも以上に真剣にお話に聞き入っていました。お話の内容についての感想を自分の言葉で話すことができていました。修学旅行では、きっと深くいい学びができると思います。

地域の方が数名、お話を聞きに来ておられました。新聞社の方も取材に来られました。
(児童の感想)

○本当に、怖いし、恐ろしかったんだなと思いました。実際に原爆を体験しているのに、あのようにお話ができることを、すごいなと思いました。原爆の恐ろしさや怖さを知れて、修学旅行で何を学びに行くのかも分かって良かったです。
○戦争中は、ご飯もなくて、安心してくられなくて、とても不安を覚えていたことに、悲しい気持ちになりました。



竹矢地区で5年前に編集・刊行された

【戦後75年「平和を希い 今、語り継ぐ戦争の記憶」】

という冊子があります。戦前戦中生まれの竹矢の方々が書かれた文章が載っています。当時の暮らしや、悲しかった体験などが書かれています。

竹矢小学校の図書館に何冊かおいてあります。

教育実習生

9月8日から10月3日までの一ヶ月、教員を志す大学生が教育実習に来てくれています。主に6年生と一緒に学んだり遊んだりしています。竹矢小学校出身の若者です。学校の様子をよくわかっていて、きびきび実習をこなしています。教育活動を大切に受け止め、積極的に取り組む姿に感心させられています。

明るく元気な先生になられることを期待しています。

